

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターにおける 「朝日山地森林生態系保護地域」スノーモービル乗り入れ自粛の取組みについて

朝日山地森林生態系保護地域は、貴重な動植物をはじめ原生的な森林生態系が護られているところです。このため、積雪期の巡視活動や看板類の設置等により普及啓発活動を行っています。

1 月山周辺地域で巡視活動を行いました。

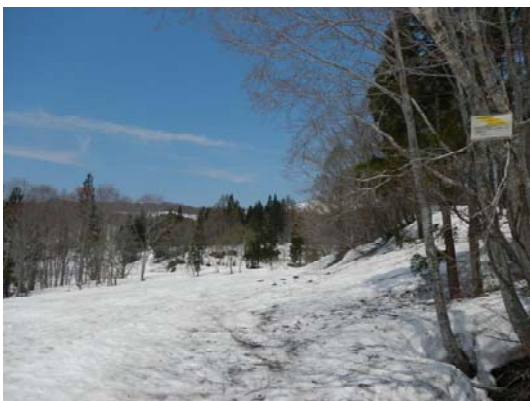
○ 5月7日（月）

5月6日で今シーズンのスノーモービル乗り入れが終了したことから、パウチ加工した簡易な標識の撤去、鶴岡市田麦俣、西川町大井沢根子、西川町志津、朝日町白倉の宿泊施設等での聞き取り及び志津での巡視を行いました。

志津での聞いた話では、乗り入れの最終日となる昨日は20台程の乗り入れがあった。今シーズンはケガ・事故もなく終了したとのことでした。

巡視では、スノーモービルの通行時のベルト痕やノウサギと思われる糞・ブナ樹皮の食痕なども確認されました。

また、鶴岡市田麦俣、朝日町白倉の宿泊施設での聞き取りでは今シーズンスノーモービルの乗り入れは見られなかったとのことでした。



○ 4月22日（日）

この日は、スノーモービル乗入れ利用区域内で環境省羽黒保護官事務所、東北森林管理局、山形森林管理署、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターの関係者が参加して合同でのパトロールを実施しました。

月山道路の第一トンネル西川町出口付近に集合した後、大越までの間を山スキー、スノーシュ等で現地状況の確認に向かいました。

事前に20台ほどの入込予定と聞いていましたが、昨日までの好天とは打って変わり、強風の吹き荒れる肌寒い日天候で早々と下山したため、スノーモービルの姿自体は確認できませんでした。

巡視では、当日のスノーモービルの通行跡やトラックベルトによる樹木の損傷が確認された他、強風によるブナ大木の折損被害、ヒメネズミと思われる動物、ノウサギなど動物の糞、ノウサギによるブナ樹皮の食痕など野生動物の生息等も確認できました。



4.22

合同パトロールコース図

○ 4月13日（金）

西川町志津の乗り入れ利用区域周辺で行いました。この日は好天に恵まれ、巡視では、スノーモービルの通行跡、また、トラックベルトによる枝皮の剥離、スノーシューでの入林跡、ノウサギの糞などが確認されましたが、スノーモービル乗り入れ自体は確認されませんでした。

聞き取りによると、今週末に乗り入れを予定しているのは、天候次第であるが 12 台とのことでした。

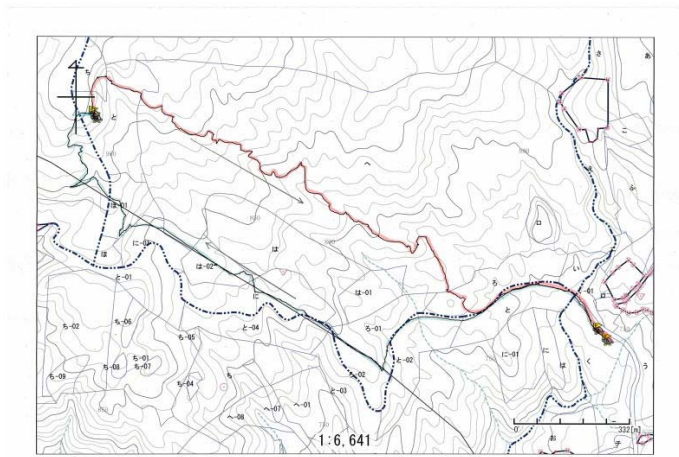
なお、先日、湯殿山温泉入口に掲示したパウチ標識が亡失したため、新たな標識を掲示しました。



○ 3月24日（土）

今シーズン最初の巡視活動を西川町志津の乗り入れ利用区域周辺で行いました。今回、山スキーが初めての者もいることから、現地状況の把握も兼ねて行いました。

出発直後に晴れ間が見えたものの、雪と強風の悪天候であったこと、まだ、時期が早かったせいか、スノーモービルを見かけませんでした。



3.24
パトロールコース図

2 スノーモービル乗り入れの実態について聞き取り調査等を行いました。

4月6日（金）に、鶴岡市田麦俣、西川町大井沢根子、西川町志津、朝日町白倉の宿泊施設等にスノーモービル乗り入れ状況の聞き取り、現地確認を行いました。志津での聞いた話では、今週末に乗り入れを予定しているのは、地元のグループ10台、福島県からのグループ25台だが、天候次第で中止の可能性もある。また、今年は雪が多く、締まっていないため急な斜面を登ることができず、月山の奥まで入っていくことができない状況とのこと。

今日の月山周辺は、雪の降る寒い日であり、乗り入れをしている状況は見られませんでした。



3 看板類の設置等を行いました。

- (1) 昨年11月30日（水）、一昨年に仮設置した乗り入れ自粛を求める看板を大江町のブナ峠2箇所を設置しました。



(2) 3月16日(金)、パウチ加工した簡易な標識を鶴岡市湯殿山外2箇所に掲示しました。



4 生態系保護地域へのスノーモービル乗り入れ自粛について、関係市町に依頼をして、広報に掲載されました。

(1) 「広報つるおか」 3月1日号

(2) 「NETWORKにしかわ」お知らせ 3月1日号②